

## 「社会のための技術」レポート

「技術倫理演習用事例集」からのどれか1つを選び、あなたならどうするかを書く  
ファイル名は、「学生証番号-1」としてください。（例：99999-1.docx）

学生証番号	所属コース名称	氏 名
03-160946	システム創成学科SDMコース	西村弘平

選んだテーマ:川崎主任のジレンマ

現在環境問題はとても重要視されており、仲根化成も福島石油化学工業も汚染を引き起こすと多額の金額が必要になったり、最悪の場合、会社が倒産に追い込まれるなどの可能性がある。従って、お互い汚染の可能性となるような発見をした場合はたとえ少量であっても共有しあう関係性を築くべきだと考える。たとえ微量でも汚染物質の排出に対応することによって大きな環境汚染を防ぐことができるからである。

ここで以下3つの内容を含めた文書を仲根化成に送ることを提案する。

- ・仲根化成によるものと思われる汚染物質が検出されたこと
- ・同様の福島石油化学工業による汚染と思われる現象の有無
- ・今後同様の汚染原因となりうる物質を見つけた場合はお互い連絡しあう取り決めをする

以上の内容を含んだ連絡を仲根化成に送り、お互いに微量の結果でも環境汚染の原因になる現象を共有することでお互いの会社、環境を守ることができるように考える。